

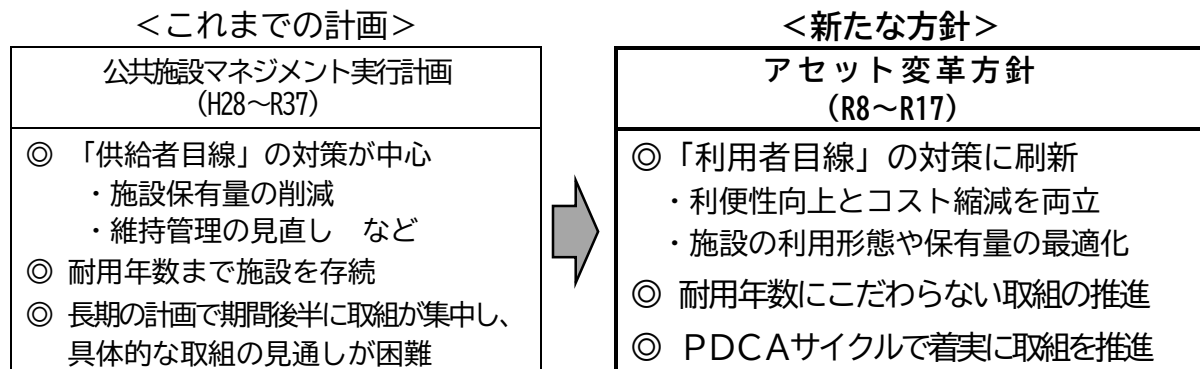
「北九州市アセット変革方針（素案）」について

1 策定の趣旨

北九州市では、平成 28 年に「公共施設マネジメント実行計画」を策定し、取組を進めてきたが、施設を耐用年数まで使い切って廃止とするなど、多くの施設で新たな発想が生まれにくい構造となっている。

さらに、施設利用者のニーズの変化や多様化に加え、施設の整備・管理運営における公民連携やDXの全国的な流れなど、社会情勢は大きく変化している。

これらを受けて、公共施設のあり方についても発想の転換が求められていることから、本方針を策定するものである。



2 方針の2つの柱

(1) 新たな価値の創出

公民連携による施設の新設・運営や、利便性の高いエリアへの機能集約、DXの導入により、市民の利便性向上と運営の効率化を両立させる。

(2) 資産価値の最大化

当初の目的が薄れた施設の用途変更や多機能化、「まちづくり」の視点による施設・土地の売却・貸付の戦略的推進、にぎわいの創出に向けた施設の魅力向上を目指す。

3 方針の3つの視点

(1) 利用者ニーズに基づく価値の再定義

(2) 新技術の活用による社会情勢の変化への対応

(3) 次世代へつなぐ責任ある行財政運営



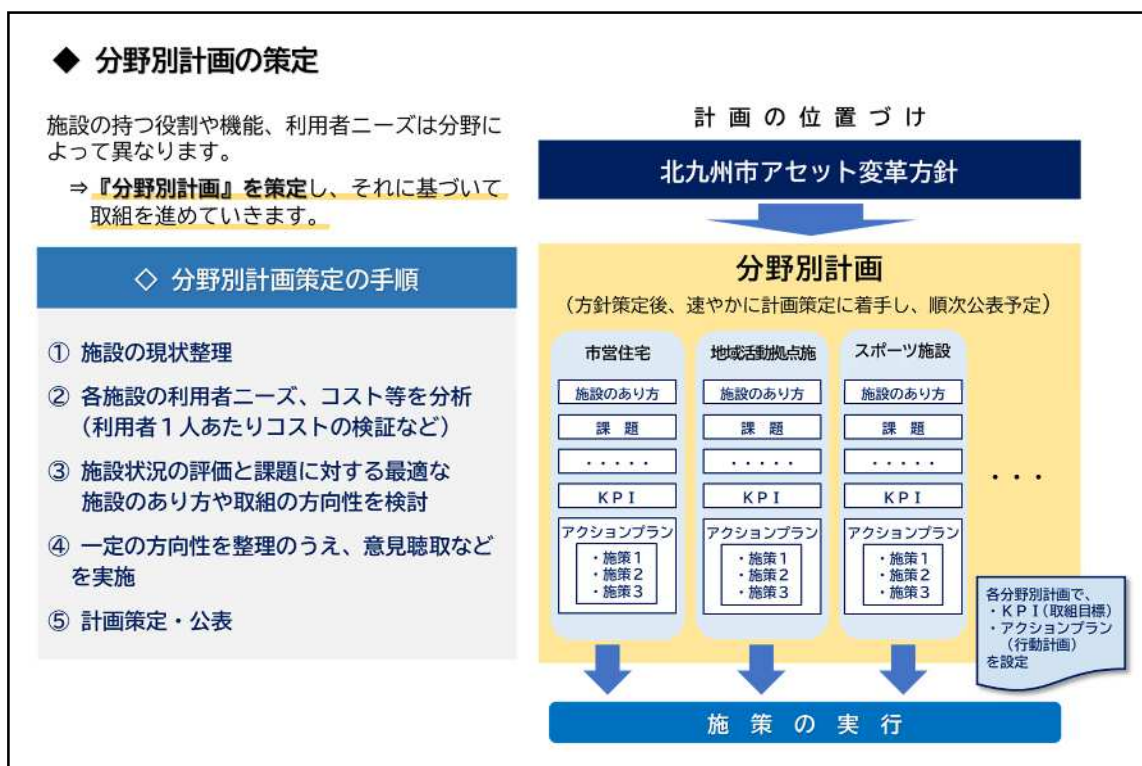
4 推進体制

(1) 分野別計画の策定

施設分野ごとに、KPIやアクションプラン等を設定する。

(2) PDCAサイクルによる取組の推進

毎年度の予算編成と連動し、進捗評価・見直しを行うサイクルを構築する。



5 今後のスケジュール（予定）

令和8年 8月 方針（素案）の総務財政委員会報告・公表

8月 市民意見の聴取（パブリックコメント）

10月 方針（最終案）の総務財政委員会報告、方針の策定・公表

※ 方針策定後、速やかに分野別計画の策定に着手し、順次公表予定